

## 一般財団法人 山梨陸上競技協会 競技開催方針(暑熱・雷雨等への対応)

### 1 目的

本方針は、暑熱および雷雨・落雷等の気象リスクから、競技者・審判員・補助員・観客等すべての関係者の安全と健康を最優先に確保するため、競技会の実施判断(時間変更・中断・中止・延期等)を定める。

### 2 基本方針(通知準拠)

1. **WBGT31**以上となる暑熱環境下での運動(競技)は、原則として中止・中断する。
2. 7月・8月の競技会は、競技時間のみならずウォーミングアップ等すべての運動・活動を含め「確実にWBGT31以上にならない地域または時間帯」での開催を除き、原則として開催しない(延期・中止を含む)。
3. 7月・8月以外においても、暑熱環境下での判断は上記と同様とする。
4. 小学生以下は特に厳重な注意のもと判断する。

### 3 当地域における開催時間帯の原則(暑熱回避)

当地域では7-8月の日中にWBGT31を超えることが予測されるため、暑熱回避策として、原則として**15時以降(夕刻)**から競技を開始する。

ただし、当日の実測または信頼できる予測等により、**15時以降**であっても**WBGT31**以上となる可能性が高い場合は、開始前に延期・中止等の判断を行う(「原則開催しない」の考え方に準ずる)。

- ・会場実測(WBGT計)
- ・公的情報(暑さ指数の公表値等)
- ・主催者が事前に定める予測情報

招集・ウォーミングアップ等を含むすべての運動・活動についても、WBGT31以上となるおそれがない場所(日陰、雨天走路、屋内運動場など)で実施する。

### 4 WBGTの測定と運用基準

1. WBGTは、グラウンド内(トラック・フィールド上)で計測し、WBGT計の高さは地面から**1.5m**とする。
2. WBGTに応じた対応の目安(通知記載の整理)
  - **WBGT25**以上:水分・塩分補給、暑熱対策の機会を適宜設ける。

- **WBGT28以上**:休憩・補給の徹底、場内全体への注意喚起、長時間活動の回避。加えて、**3000m以上**(長距離・競歩)は実施せず、時間変更または延期とする。また、主催者が設置する「対策本部＝競技会ディレクター・総務・審判長」において、WBGT31以上となった場合の対応(中止・中断・延期・競技時間変更等)を協議する。
- **WBGT31以上**:公益財団法人日本スポーツ協会の指針に基づき「運動は原則中止」として、原則、中止・中断または延期とする。

#### 5 雷雨・落雷(夕立等)への対応

1. 夕刻は落雷を伴う夕立等により気象が急変する可能性があるため、主催者は気象情報(雷注意報、雨雲の接近、雷鳴・稲光等)を継続監視する。
2. 雷鳴・稲光を確認した場合、または落雷の危険が高いと判断される場合は、競技を直ちに中断し、参加者・関係者を安全な場所へ退避させる。
3. 危険が解消し安全が確認できるまで競技は再開しない。状況により、競技開始後であっても中止を決定する場合がある(安全確保を最優先とする)。

#### 6 実施可否の判断と周知

1. 実施可否(開始時刻変更・中断・中止・延期)の最終判断は、競技会ディレクター(不在時は総務/代行者)が行う。また、安全確保のための緊急停止(現場の即時中断)は審判長において行うことができる。
2. 判断は、WBGT(実測値)および気象情報、会場状況、救護対応状況等を総合して行う。
3. 周知は、場内放送・掲示・連絡網(Web/SNS/メール等)により速やかに行う。
4. 参加者は主催者の指示に従い、体調不良の申し出、給水・冷却、退避行動を最優先とする。

#### 7 その他(要項側の扱い)

競技の中断・中止に伴う記録の扱い、表彰、参加料等の取り扱いは、別途定める。

令和8年4月1日施行